

ULTERIOR

E'wao Kagoshima

Deconstructed Bodies

April 24—June 6, 2026

Opening Reception: Friday, April 24, 6—8 pm



E'wao Kagoshima, *Untitled*, c. 1976-1980
Mixed media on paper, 30 x 22 in (76.2 x 55.9 cm), KAGew-122

Ulterior Gallery は、E'wao Kagoshima による当ギャラリーでの初個展「Deconstructed Bodies」を、4月24日より開催いたします。本展は、昨年ニューヨークの Center for Arts, Research and Alliances (CARA) で開催された美術館個展「Animated Minds」に続くものであり、Kagoshima のあまり知られていない作品群を現代美術の言説へと提示するものです。

本展では、1976年に東京からニューヨークへ移住した数年後に制作された、1970年代後半から1980年代初頭にかけてのミクストメディアによるドローイングおよびコラージュ作品を紹介いたします。ニューヨークでの経験は、Kagoshima が自身の制作方法を確立していくその今回に重要な影響を与えました。本展のセレクションは、作家の、内省へと至る導線としての具象表現に対する関心に焦点を当てています。ウィーン幻想派の影響を受けたシュルレアリスティックなイメージや思考を通して、Kagoshima は崩壊、変容、再構築といった流動的な状態にある人体表現を展開しました。

ULTERIOR

Kagoshima のミクストメディア・ドローイングでは、身体は分断され、引き裂かれ、再構成される存在として想像され、人間の形態はサイborg的な接合へと変容していきます。《Untitled, 1976–1980》（上図）では、包帯で巻かれギプスを施された手足を持つ人物が、崩れゆく石にしがみついた姿が描かれています。しかしその姿は曖昧な宙吊りの状態にあり、上へ登っているのか、それとも落下しているのかは判然としません。その無防備な顔は多義的に読み取ることができ、能面のように、演目の文脈や動作、さらにはどのように活性化されるかによって表情が変化するかのようです。

コラージュ作品は、多様な素材の扱いにおける Kagoshima の独創性、鮮やかなグラフィック感覚、そしてイメージへの鋭敏な感受性を際立たせています。作品の中には、ヴィンテージのゲイ・エロティカ雑誌から引用された男性身体のイメージが取り入れられているものもあり、これはニューヨークのウェスト・ヴィレッジ生活からの反映です。一方で、人物像が描画や絵画的断片へと還元され、切り取られた紙片と相互作用する構成も見られ、ある作品では、断片としての日本語「芸術作品は、形の大小を問わず一種の先端的…」が作品構成の中に見られます。こうした比較的小品の中にも、この時期の作品群に通底する形態的探求への野心が明確に示されています。



E'wao Kagoshima, *Untitled*, 1981
Mixed media on paper, 12 x 9 in (30.5 x 22.9 cm)
KAGew-131

切断し、広げ延ばし、めくり上げることで、画面のマトリクスと支持体が融合していく Kagoshima のジェスチャー・・・それこそがこれらの非常に独創的なコラージュ作品に親密さと脆さ、そして強い真実味を与えています。1981年のコラージュにおいては、使用される素材はより具象的なものへと移行していき、おそらく雑誌など印刷媒体を通してアメリカの大衆文化に触れたことが、その背景にあると考えられます。初期の抽象性に見られた密度は大きく緩和され、人体と他の図像とのあいだに複雑で謎めいた対話が生まれていきます。

ULTERIOR

1981年の Kagoshima 作品における人体は、解体され、組み合わせられ、時に断絶されながら、オブジェや図式的イメージを挿入するための足場として機能します。こうして生まれる具象的な複合体は、コラージュという手続きを通して、新たな環境の中に人工的に配置されています。アメリカという新しい土地に移住し、新しい環境で活動する作家としての自身の経験を反映するかのよう、本展における解体された身体は、素材的・視覚的な矛盾を通じて変化と可変性を内包しています。

E'wao Kagoshima (b. 1945) is a Japanese-born, New York-based artist whose practice encompasses painting, sculpture, and collage. He has presented solo exhibitions at Nagai Gallery, Tokyo (1976); the New Museum, New York (1983); Mitchell Albus Gallery, New York (1997, 2008); Galerie Gregor Staiger, Zurich (2016); The Box, Los Angeles (2018); and Greenspon Gallery, New York (2018). His works have been featured in exhibitions at the Institute of Contemporary Arts, London (1982); White Columns, New York (2011); SculptureCenter, New York (2013); the Jewish Museum, New York (2014); the Baltic Triennial at the Contemporary Art Centre, Vilnius (2018); and MoMA PS1, New York (2021). Most recently, in 2025 he was given a retrospective at Center for Art, Research and Alliance (CARA), New York. His works are in the collections of the Asian American Art Centre, New York; the Japanese American Cultural & Community Center, Los Angeles; the Princeton University Art Museum, New Jersey; and the Zuzeum Art Centre, Riga. Ulterior Gallery will also present a solo booth of Kagoshima's works at the upcoming art fair, NADA New York 2026 from May 13-17, 2026, in the TD Spotlight section curated by Anthony Elms, the Artistic Director at the Mattress Factory, Pittsburgh, PA.